

# 次号予告と刊行月一部変更のご案内

## 2019年4月号 vol.5 no.1

特集

### 治療医のための緩和ケアスキル Beyond PEACE

企画: 吉田健史(近畿大学医学部附属病院・腫瘍内科/緩和ケアセンター)  
西 智弘(井田病院・腫瘍内科/緩和ケア内科)

PEACEは受けただけで、専門的なことはできないし、どこまでやって良いのか分からない。質問したくても緩和ケア医が近くにいない……。

緩和ケアの専門家がなくても「何とかしたい」治療医のために、PEACEと専門的緩和ケアの狭間にあるスキルと考えかたを症状別に紹介します。

特別講義

### はじめての がん遺伝子パネル検査

企画: 角南久仁子(国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科)

がん遺伝子パネル検査の保険収載が目前に迫ってきました。患者から「遺伝子検査しないでいいんでしょうか」と言われたら、さあどうする？

パネル検査で何が分かるのか、誰に使うのが良いのか、費用や時間はどのくらいかかるのか、戻ってきた検査結果の読み方は？ 臨床での最初の疑問をこれ一つで解決する特別講義です。

## 2019年7月号 vol.5 no.2

特集

### 目でみる標準治療 ——GATE frameを用いた図解がん薬物療法

企画: 清水久範(昭和大学病院・薬剤部)  
佐々木忠徳(昭和大学病院 薬剤部長・昭和大学 統括薬剤部長)

標準治療の原著論文を全て読むのはちょっと難しい。そこで登場するのが臨床試験を視覚化するツール、GATE frame。国内各学会ガイドライン推奨記載のがん薬物療法レジメンの根拠をたった2ページで図解します。目でみて覚える標準治療。これが、レジメンの新・記憶法！

読者の皆さまへ

## 刊行月一部変更のご案内

2019年より刊行月が一部変更となります。

### 2019年発行スケジュール

Vol.5 No.1 2019年 4月15日(前年より2ヶ月後ろに移動します)

Vol.5 No.2 2019年 7月15日(前年通り)

Vol.5 No.3 2019年10月15日(前年通り)

2019年、Cancer Board Squareは創刊から5周年を迎えます。

変化と革新が続く、がん診療の世界。

ますます目が離せなくなってきました。

そんな臨床現場の医療者の皆さんから「こういうものが知りたかった!」と言っていたような誌面作りをこれからも続けて参ります。

引き続きご愛読のほどをよろしくお願い申し上げます。

「Cancer Board Square」編集室

\*刊行月変更についてのお問い合わせは、編集室までお気軽にご連絡ください。  
編集室直通 03-3817-5714(担当:三橋・境田)

### カンファレンス取材のお願い

あなたの施設のカンファレンスを『Cancer Board Square』に掲載しませんか？  
本誌では、がんに関わるカンファレンスの取材先を募集しております。

- ・ Cancer Board
- ・ 診療科横断型のグランドカンファレンス
- ・ CPC
- ・ ナースによる振り返りカンファレンス

など、公開可能な活発なディスカッションの場がございましたら、編集室までぜひご連絡ください。

03-3817-5714(編集室直通)

cbs@igaku-shoin.co.jp

\*これら特集テーマについては変更の可能性がありますことをご了承ください。